

組合員の作品



ちぎり絵
みい支部 菅田 保子

「苦難去る」
たんぼぼ支部 高橋 道江



レザークラフト
(いのしし親子と犬)
みい支部
阿部 登起子

短歌

小鉢に咲くミニシクラメンに触れてみた花六輪と五つのつぼみ

成田支部 竹内 平(全盲の方)

まあまあの収穫だったと今年また新米十キロ友が持ちくる

さつき支部 中山 惟行

富有柿のどっさり並ぶ店先の三個選ぶに迷ってばかり

さつき支部 酒井八重子

初み空学び半ばで逝し子へ残り託したる飛行機雲

門真中央支部 兵頭 克己

※皆様の投稿をお待ちしています。(写真・短歌・絵手紙・川柳など)
編集委員会 ☎072-882-5025 (組織部まで)

詩

道標
成田支部 迫田 智代

青木湖山辺りの道

塩の道千国街道沿いに歩く

雪道をテクテクと

十一面観音 如意輪観音は雪の中

少し笑ったような顔が半分

雪の中から見えている石仏

静かな道

ほのぼのと温かい

心の灯をともしず

詩集「私の旅」より

新シリーズ

「わが町探訪」を始めるにあたって

編集委員 南 みつぐ

先人たちの喜怒哀楽の結晶である「この地域とまち」そして歴史をどれほど私たちは知っているのでしょうか。けいはん医療生協も「この地域とまち」の歴史の上に立って活動しており、この歴史をよく知り地域の人たちと苦勞を共にしながら、今後も「地域まるごとケア」をすすめて行く必要があるのではないのでしょうか。

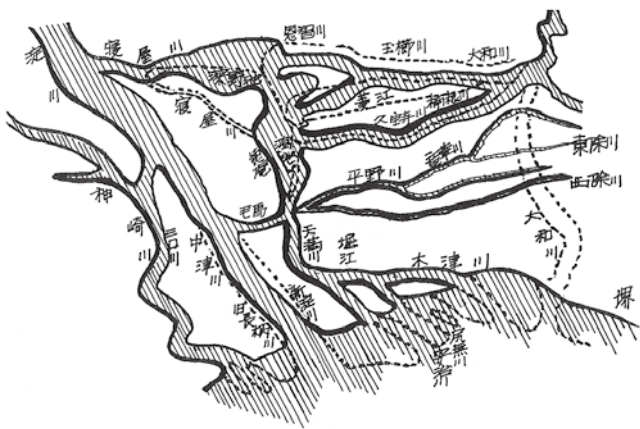
わが町探訪

「水」との争い

私たちが住み、活動する北河内地方は太古から淀川、寝屋川、大和川にはさまれた低湿地域で、その昔は「河内湖」といわれていました。

仁徳天皇の3世紀頃に茨田の堤を造ったとの話も。常に「水害」に脅かされ、農業にあつては「水争い」が絶えず、豊かで安定した穀倉地帯となつたのは明治から昭和にかけて行われた、淀川の堤防の強化、農業用幹線水路の建設と灌漑用の水路の完成でした。戦中、戦後には松下電器など工場

の進出、国道1号線の付け替えなどで農村の姿は消え、大阪のベッドタウンとして人口急増地帯に変貌しました。



2500年前の淀川とその周囲の河川(点線はその後に造成された地帯)